

Weekly Report

(2013年1月第4週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週（1/14 - 1/18）の動き

日経平均は乱高下しながらも前週比で上昇した。週初は堅調な動きとなっていたが、政府高官の円安を懸念する発言が報道され、為替が一時的に円高に振れると、株式は売られる展開となり、日経平均は1万400円台まで下落した。その後、その高官は円安を牽制した発言を否定したため、為替は再び円安へと動き、株式にも買いが入った。結局、日経平均は前週末比+1.03%の1万913円で一週間の取引を終えた。

セクター別では、海運が前週に引き続き上昇トップ。バルティック海運指数が上昇していることが、引き続き物色材料となっている。その他、医薬品、食料などディフェンシブの上昇が目立つ。下落トップは繊維。ボーイング 787 関連として東レが売られたことが影響している。その他、不動産、建設などここ最近上昇を牽引していたものが下落している。スタイルインデックスでは、TOPIX コア 30、ラージ 70 など時価総額の高いものが上昇上位となった。

| セクター動向(先週末比) | | | 各種国内株式指数動向(先週末比) | | | | |
|--------------|-------|-------|------------------|-----------|-------|-----------|-------|
| 海運 | 6.17% | 繊維製品 | -2.53% | マザーズ | 5.43% | ミッド400 | 1.20% |
| 金属製品 | 3.91% | ガラス土石 | -1.71% | TOPIXL70 | 1.79% | 日経平均株価 | 1.03% |
| 医薬品 | 3.17% | 不動産業 | -1.47% | TOPIXバリュー | 1.53% | 東証2部 | 0.93% |
| 食料品 | 2.45% | パルプ紙 | -1.46% | コア30 | 1.52% | TOPIXスモール | 0.60% |
| 機械 | 2.31% | 建設業 | -1.36% | TOPIX | 1.42% | REIT指数 | 0.32% |
| 陸運 | 2.22% | 空運 | -1.26% | TOPIXグロース | 1.31% | | |

● 各国の主要経済指標

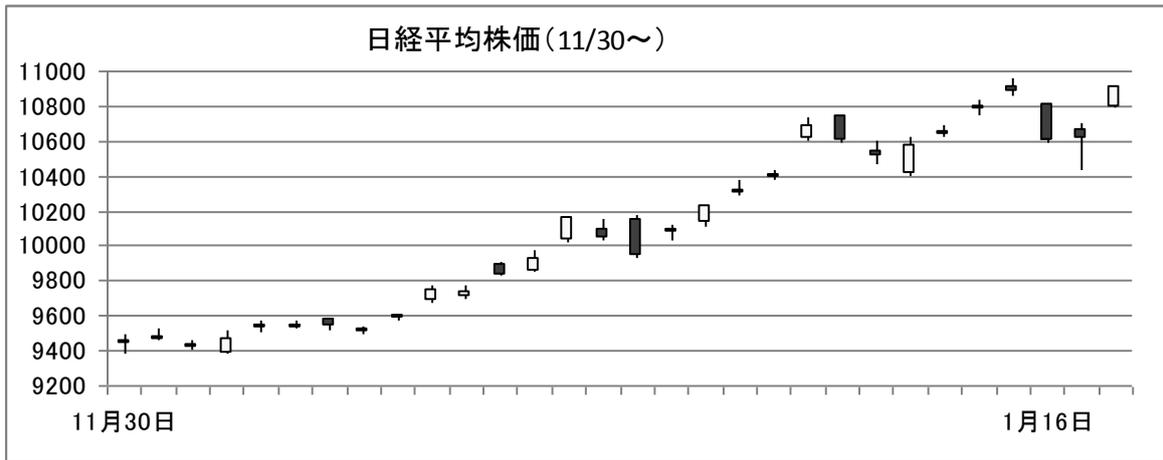
日本のマネーストック（M2・12月・前年比）は2.6%（予想2.1%・前月2.1%）と伸びを示した。工作機械受注（12月・前年比）は-27.5%（前-21.3%）と減速幅を拡大。機械受注（11月・前年比）は0.3%（前-7.3%・前1.2%）と弱いながらも予想を上回った。

米国のNY連銀製造業業況指数（1月）は-7.78（前0・前-8.1→-7.3）、フィラデルフィア連銀指数は-5.8（前5.6・前8.1→4.6）と、どちらも予想、前月を下回る内容となった。新規受注の落ち込みが目立つものの、6ヵ月先の期待値はどちらも前月比で伸びており、製造業の業況の底打ちは近いと見られる。小売売上高（12月・前月比）は0.5%（前0.2%・前0.3%→0.4%）と小幅な増加が継続、住宅着工（12月）は95.4万（前89万・前86.1万→85.1万）と予想を大幅に上回った。

中国のFDI（12月・前年比）は-4.5%（前-2%・前-5.4%）と予想に届かず。実質GDP（4Q・前年比）は7.8%（前7.7%・前7.7%）、鉱工業生産（12月・前年比）は10.3%（前10.2%・前10.1%）、小売売上高は15.2%（前15.1%・前14.9%）と各々、予想よりも小幅に良い値となった。

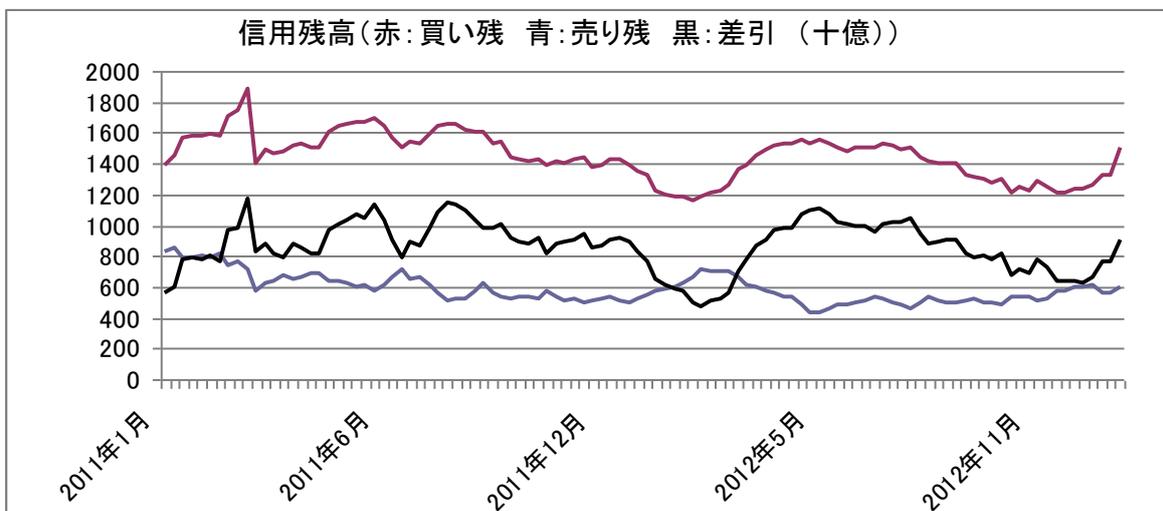
今後の注目材料

為替の動きに株価が振り回される展開が続いている。今週は、日銀政策決定会合での追加緩和策が一段の円安をもたらすのかが、最大の注目点となる。政策発表後、円安となるようであれば株も上昇するだろうし、円高になるようであれば株式にとって一旦利食い局面となるだろう。現状から考えると、会合で決定されるであろう事柄について、かなり情報が漏れているため、追加緩和策はそれ程インパクトを持たず、株価もそれに伴い調整に入る可能性が高い。



株式市場の需給動向（前週分）

投資部門別売買動向は海外勢が引き続き買い越し。その他、個人が9週ぶりに買い越しとなった。信用残は買い残高が急増、裁定残高も増加している。





光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会